

千年に一度と言われる『東日本大震災』
実情と教訓の後世への伝承
将来の災害に備える取り組みの発信

それは、『被災地の責務』

東日本大震災は、多くの尊い生命と財産を奪い、私たちに大きな爪痕を残しました。
被災地への思いを風化させることなく、震災での活動で得られた経験と教訓を忘れずに、
多くの方々や後世に伝える取り組みが必要です。

震災伝承ネットワーク協議会

岩手県、宮城県、福島県で整備する復興祈念公園及び青森県、岩手県、宮城県、福島県、仙台市において整備または整備を今後検討される震災伝承施設[®]等を含め、震災伝承をより効果的・効率的に行うためにネットワーク化に向けた連携を図り、交流促進や地域創生とあわせて、地域の防災力強化に資することを目的に設立されました。

“教訓が、いのちを救う”をキーワードに、東日本大震災の事実や記憶、経験や教訓を伝えることで結ばれて新たにできる教訓・伝承の道『3.11伝承ロード[®]』の形成を目指しています。

組織の構成

東北地方整備局	局長(会長) 企画部長(副会長) 建設部長
青森県	県土整備部長
岩手県	復興防災部長、県土整備部長
宮城県	復興・危機管理部長、土木部長
福島県	企画調整部長、土木部長
仙台市	まちづくり政策局長、都市整備局長
復興庁	復興知見班参事官

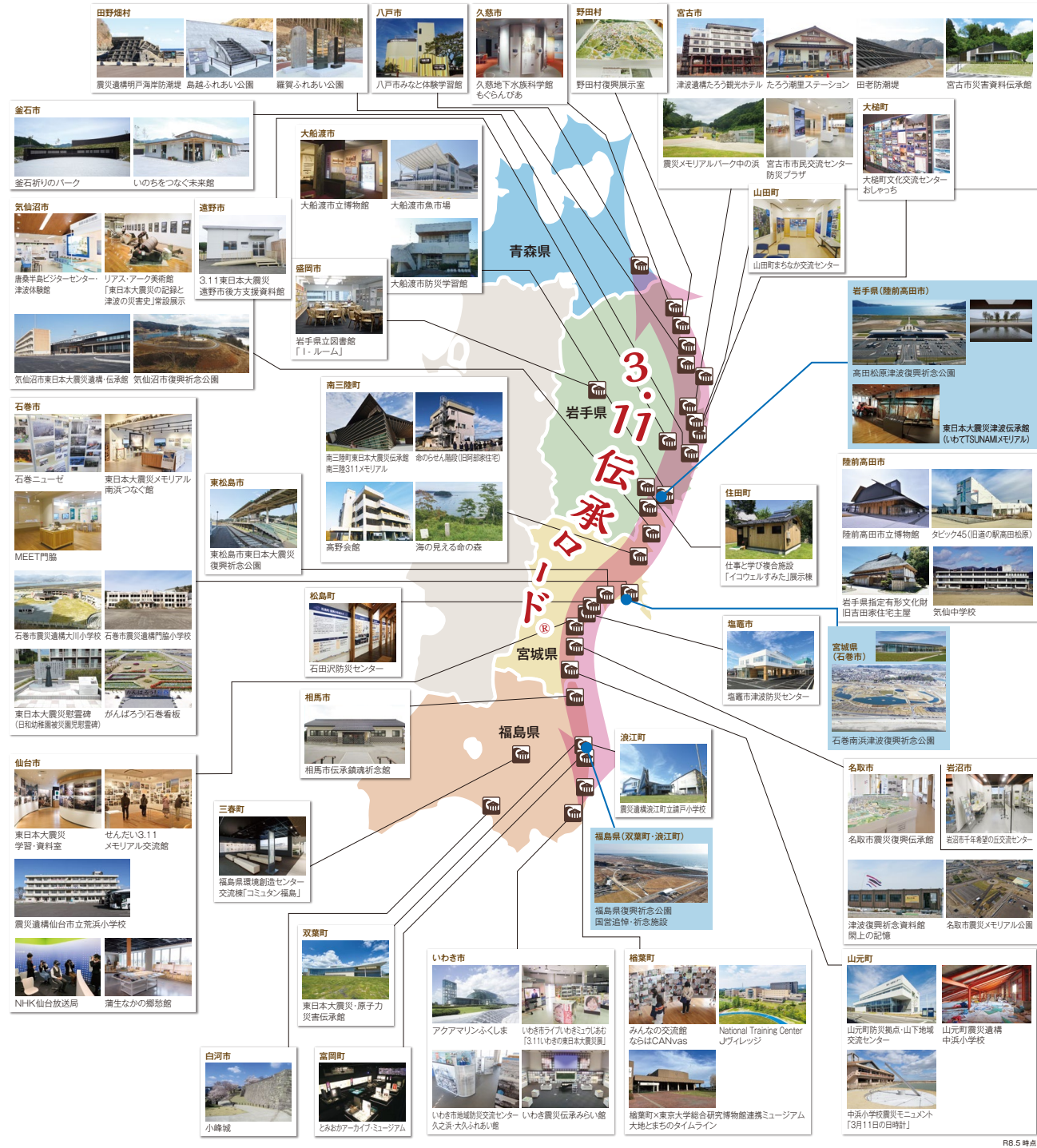
産学官民で取り組むために



教訓が、いのちを救う 3.11伝承ロード[®]の取り組み

3.11伝承ロード[®]とは

東日本大震災の被災地には、被害の実情や教訓を伝える震災伝承施設[®]が数多くあります。「3.11伝承ロード[®]」とは、これらの施設をネットワーク化し、防災に関する「学び」や「備え」を国内外に発信することで震災を風化させず、後世に伝えていく取り組みのことをいいます。取り組みにより多様な方が訪れる機会を創出することで、防災力の向上(教訓の伝承)や地域の活性化(学びの対流)をはかることを目標としています。



震災伝承施設[®]の登録状況

	施設数(件)	分類の内訳		
		第3分類	第2分類	第1分類
青森県内	11	1	5	5
岩手県内	131	27	35	69
宮城県内	162	31	54	77
(うち仙台市)	(25)	(5)	(11)	(9)
福島県内	44	14	25	5
合計	348	73	119	156

震災伝承施設一覧はこちら



3.11伝承ロード[®]具体的な取り組み

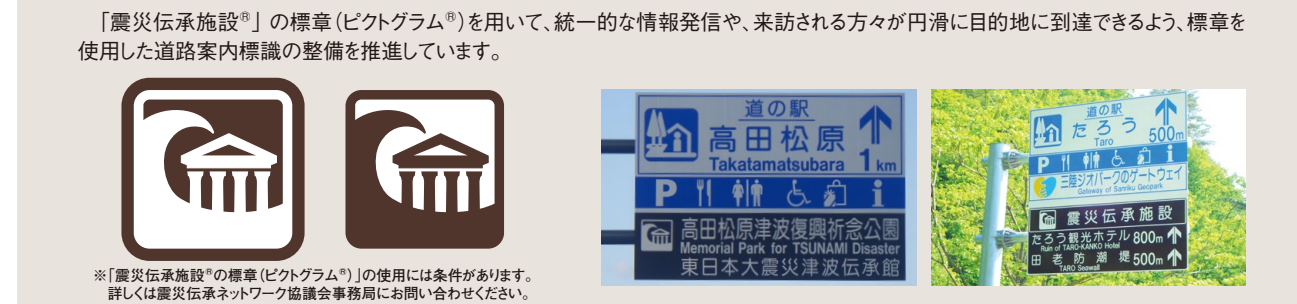
震災伝承施設[®]の募集・登録、ピクトグラム[®]を用いた施設案内

東日本大震災の被災地には、被害の実情や教訓を伝える“もの”や“建物”がたくさんあります。例えば、昔の人の教えが刻まれた「津波石碑」や、被災した建物をそのまま残している「震災遺構」、当時の映像・写真を展示している「伝承館」などです。

このような、東日本大震災から得られた実情、教訓を伝承する施設を「震災伝承施設[®]」として登録しています。



「震災伝承施設[®]」の標章(ピクトグラム[®])



伝承技術等のアーカイブ化、防災教育 等



復興に向けた地方創生、支援



東日本大震災からの復興の象徴 復興祈念公園と 国営追悼・祈念施設

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、復興祈念公園を整備しています。
「3.11 伝承ロード®」のゲートウェイである復興祈念公園を核として、各地の震災伝承施設®と広域ネットワークを形成し、防災力向上と地域活性化につなげていきます。



① 高田松原津波復興祈念公園（陸前高田市）



② 石巻南浜津波復興祈念公園（石巻市）



③ 福島県復興祈念公園 国営追悼・祈念施設（浪江町・双葉町）



～防災力の向上、地域活性化に向けて～

青森県

青森県防災ハンドブック

「あおりおまもり手帳」
※県庁ホームページに掲載

●災害が起きた時に「どうやって自分の命を守るのか」
●ふだんから「どうやって災害に備えたらよいか」などについて分かりやすくまとめたもの

あおりおまもり手帳

岩手県

いわて震災津波アーカイブ 希望

忘れられない、あの震災津波
岩手から未来へつなぐ記憶と教訓

いわて震災津波アーカイブ～希望～

20万点を超える震災津波関連資料を公開しています。防災活動や教育現場での防災教育、復興ツーリズム・震災学習など様々な場面でぜひご活用ください。

宮城県

みやぎオンライン伝承館

ドローン映像や、全周囲を撮影できる360度カメラを使った動画などを通して、「みやぎ東日本大震災津波伝承館」やその周辺の石巻市南浜地区・門脇地区を巡る疑似体験ができるコンテンツです。

福島県

3.11 伝承ロードふくしま

福島県内13の震災伝承施設®を紹介するWEBサイトです。

ふくしまの🗺️をわかりやすく紹介
ふくしま復興のあゆみ
発信中！

仙台市

新たなメモリアル施設整備に向けた検討を進めています

仙台はじまりの地である青葉山エリアを建設予定地とし、文化芸術の総合拠点となる音楽ホールと、災害文化の創造拠点となる中心部震災メモリアル拠点を複合整備します。
東日本大震災の経験はもとより数々の災害を乗り越えてきたまちづくりの歴史や知見を基盤に、文化芸術とも連携し、未来をより良く生きる文化を創造し続ける施設を目指しています。

復興庁

るるぶ特別編集 東日本大震災伝承施設ガイド

青森県（八戸市）、岩手県、宮城県及び福島県の4県にある震災伝承施設®から駐車場等があり、館内案内や語り部等のいるものを中心に75施設について紹介しています。

東北地方整備局

震災伝承館

写真、動画、3Dデータなどご覧いただけるほか震災遺物の貸し出しなども行っています。
（※貸し出しにかかる送料等は申請書のご負担となります）

TOHOKU わくわくスクール

東北地方整備局 出前講座

東日本大震災の被災地が伝える 『学び』や『備え』

発行・お問合せ先

震災伝承ネットワーク協議会事務局 （国土交通省東北地方整備局企画部）

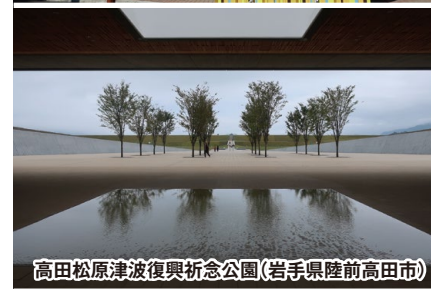
〒980-8602 宮城県仙台市青葉区本町3丁目3番1号 仙台合同庁舎B棟
TEL:022-225-2171 FAX:022-221-9890
お問い合わせ: thr-densho@mlit.go.jp

震災伝承ネットワーク協議会 Webサイトのご案内

教訓が、いのちを救う 活動状況や震災伝承施設®の概要などぜひご覧ください。
3.11 伝承ロード (https://www.thr.mlit.go.jp/shinsaidensho/index.html)



311 DEATH ROAD “教訓が、いのちを救う” 『3.11 伝承ロード®』の取り組み



震災伝承ネットワーク協議会

国土交通省東北地方整備局・青森県・岩手県・宮城県・福島県・仙台市・復興庁